

要望しています

～笠岡市の未来のために～

平成28年度
決算認定
要望事項



予算・決算において市に対し、議会から要望を付しています

9月定例会では、笠岡市の平成28年度一般会計等の決算の審査・認定を行いました。一般会計の決算認定で一部反対がありましたが、10の要望を付けて認定することとなりました。要望を市がどう取扱っているのかは、進捗状況として定例会ごとに市から報告をしてもらいチェックしています。



多世代同居等支援事業の拡充を

支援事業の該当となる親等と子の対象を緩和する等、家族の絆の再生と定住促進を図るため事業の拡充を図ること。



思民の集いの参加者増加を

思民の集いの参加者の増加を図るとともに、発展的な集いとなるよう事業の見直しを行うこと。



地域おこし協力隊のサポートを

地域の新たな担い手である協力隊が自立し、笠岡への定着が図れるようサポートを行い、協力隊の採用を推進し事業の発展に努めること。



将来を見据えた公共工事の計画を

将来を見据えた事業計画。また、安全・災害を考慮した予算措置を行い事業を図ること。



意見書を踏まえた病院経営を

現在策定中の新たな「笠岡市立市民病院改革プラン」に対し、6月定例会で提出した意見書の内容を盛り込むこと。そして、改革プランの取り組みを着実に実行するとともに、指標に係る数値目標を達成すること。



レスパイトサービスの体制整備を

平成27年に指定を受け、昨年度から体験等の受入れを始めているにも関わらず利用者が増えていない中で、市民病院と笠岡市社会福祉事務所で連携をしっかりと、体制を整備すること。そして、本人、保護者、市民病院との間で信頼関係を築き、このサービスが早期に安心して利用できるものにする。



農業従事者の実態調査を

農業従事者の年齢構成・後継者の調査を行い、安定した生産活動ができるように図ること。



目的の重なる事業の見直しと他部署との連携を

医療・福祉に関する事業は、様々な観点から事業を開始する中で、違う費目で同種の事業を行っているものもある。そうした事業の整理・見直しを行うこと。また、参加者が頭打ちの事業は、他部署と連携しながら工夫し、参加者増と医療費・介護費の削減につなげる。



農用地の保全管理と農作物の被害軽減を

農業施策における交付金や奨励金において多面的な支援を行い、農用地の保全管理と農作物への被害軽減を図ること。



次世代に負担を残さない水道事業を

次世代に負担を残さない事業を行い、将来において安全で安心な良質な水の安定供給を図ること。